

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	道路除草作業委託事業				事業通番	4393		
					開始年度	--		
総合計画体系	政策	1	政策名	自然に配慮した環境づくり	終了年度	--		
	施策	1-3	施策名	交通体系の充実	担当課名	建設水道課		
予算科目	会計	一般会計		款	土木費		担当係名	建設係
	項	道路橋梁費		目	道路維持費		重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	道路法、会津美里町道路管理基準要綱						
事務事業の概要	道路通行上の安全確保のため、県道及び町道路肩の除草作業を実施する。						
対象（誰、何を）	道路路肩の雑草						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	道路通行の安全が確保される						
成果の考え方	道路の路肩の除草を行うことにより、道路通行の安全が確保される。						
【成果指標】							単位
A 実施面積							m <sup>2</sup>
B -							-

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	5,503	8,269	11,187	11,126	11,936
国庫支出金					
県支出金	3,438	3,468	6,318	6,432	6,988
地方債					
その他					
一般財源	2,065	4,801	4,869	4,694	4,948

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	111,901.7	111,901.7	60,000	85,273
	49,902.7	52,881.7	60,175	60,175	81,017
B	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

(3) 活動実績及び成果

活動実績	道路除草作業の活動実績は、30団体である。
成果	道路通行上の安全を図ることができた。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	
従事者の高齢化が進む地区については、民間への委託や実施箇所の見直し等を検討する。	
成果の方向性	(理由) 現状維持 道路除草を行うことで通行上の安全確保を図る。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	道路維持管理事業				事業通番	4560		
					開始年度	--		
総合計画体系	政策	1	政策名	自然に配慮した環境づくり		終了年度	--	
	施策	1-3	施策名	交通体系の充実		担当課名	建設水道課	
予算科目	会計	一般会計		款	土木費		担当係名	建設係
	項	道路橋梁費		目	道路維持費		重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	道路法（昭和二十七年六月十日法律第八十号）、道路法施行令（昭和二十七年十二月四日政令第四百七十九号）、会津美里町道路管理基準要綱（平成17年10月1日告示第百五十六号）						
事務事業の概要	町道の安全確保を図るため維持管理を行う。						
対象（誰、何を）	町道、法定外道路、付随の歩道、水路						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	町道、法定外道路、付随の歩道、水路が安全に機能することを維持する。 具体的には、陥没等があれば修繕し、危険が予測される状況であればその危険を取り除き、必要であれば、構造を変える修繕を実施するなど、住民の安全確保を図る。						
成果の考え方	C＝道路等安全及び利便性達成度 A／B×100% A＝修繕が必要な箇所（パトロール等で把握している数+要望があがっている数） B＝修繕を実施した箇所（危険度、緊急度を考慮し、優先順位をつけて実施）  単純にCの数値が高いほど、住民の安全や利便性の向上に寄与することになる。 しかし、危険箇所は潜在化していて表面にでないことが多いので、突発案件や災害等の緊急事態に備えること。						
【成果指標】							単位
A	-						-
B	修繕実施箇所						件

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	130,443	97,423	122,807	112,705	101,605
国庫支出金	48,000	29,652	30,118	9,042	11,385
県支出金					
地方債	26,100	18,200	22,600	27,200	32,500
その他	2,448	2,485	2,451	2,419	2,395
一般財源	53,895	47,086	67,638	74,044	55,325

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	-	-	-	-
B	-	100	100	100	100
	95	95	96	112	92

(3) 活動実績及び成果

活動実績	・職員、公社委託によるパトロール及び各自治区長報告により、危険箇所、破損箇所の修繕を実施した。
成果	・危険箇所、要望箇所を修繕することで住民生活、経済活動の維持向上が図れた。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	
破損箇所、要修繕箇所の効率的な把握、修繕を行う。	
成果の方向性	現状維持 (理由) 道路等の維持管理を適切に行うことで、住民の安全確保を図る。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	道路照明・街路灯設置事業				事業通番	4562		
					開始年度	--		
総合計画体系	政策	1	政策名	自然に配慮した環境づくり	終了年度	--		
	施策	1-3	施策名	交通体系の充実	担当課名	建設水道課		
予算科目	会計	一般会計		款	土木費		担当係名	建設係
	項	道路橋梁費		目	道路維持費		重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	会津美里町街灯設置及び管理基準						
事務事業の概要	道路照明灯の設置及び維持管理を実施することで、人と車の安全な通行を確保する。						
対象（誰、何を）	道路照明灯						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	道路通行の安全が確保される						
成果の考え方	道路照明灯を新設及び修繕することにより、道路通行上の安全が図られる。						
【成果指標】							単位
A 新規設置箇所数							基
B 修繕実施箇所数							基

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	11,091	14,193	15,733	15,792	12,610
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	11,091	14,193	15,733	15,792	12,610

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	2	9	10	8
	2	1	11	10	8
B	-	131	120	120	130
	89	170	93	108	57

(3) 活動実績及び成果

活動実績	街路灯新設 新屋敷5基(LED灯) 上戸原3基(LED灯) // 修繕 不点灯既存灯(水銀灯、ナトリウム灯、蛍光灯)更新 LED10W 38基 LED20~60W 19基 その他 あやめロードタイムスイッチ、門前町・新開橋アプローチライト修繕
成果	安全安心な交通を確保し、LED化を図ることで、省電力化や長寿命化、環境対策を推進した。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	
随時、LED化更新を進める。	
成果の方向性	現状維持 (理由) 道路照明を適切に管理することで、夜間の道路通行の安全確保を図る。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	除雪対策事業				事業通番	4563		
					開始年度	--		
総合計画体系	政策	1	政策名	自然に配慮した環境づくり	終了年度	--		
	施策	1-3	施策名	交通体系の充実	担当課名	建設水道課		
予算科目	会計	一般会計		款	土木費		担当係名	建設係
	項	道路橋梁費		目	道路維持費		重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	道路法（昭和二十七年六月十日法律第八十号）、道路法施行令（昭和二十七年十二月四日政令第四百七十九号）、会津美里町道路管理基準要綱（平成17年10月1日告示第百五十六号）						
事務事業の概要	除雪を実施することで、降雪時の交通障害を解消し、冬期間の交通の安全を確保する。						
対象（誰、何を）	除雪路線（歩道を含む）						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	除雪（排雪を含む）を行い、住民の安全な通行を確保する。						
成果の考え方	除雪に対する住民の満足度 直接の数値を捉えることは困難なので、間接指標とする。除雪のクレームや要望が少なければ少ないほど満足度は高いといえる。						
【成果指標】						単位	
A	降雪により通行不能となった日数						日
B							

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	169,554	192,504	168,104	139,136	166,172
国庫支出金	29,304	22,479	30,145	27,482	22,078
県支出金	22,853	29,278	15,975	8,637	29,428
地方債	14,100	6,200	8,300	6,200	7,100
その他	3,307	1,828	5,843	6,089	3,942
一般財源	99,990	132,719	107,841	90,728	103,624

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	0	0	0	0
	0	0	0	0	0
B	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

(3) 活動実績及び成果

活動実績	地域住民の生活、経済活動を維持するために除雪、排雪を実施した。 今季は大雪が断続し、除雪作業が遅れるなど住民生活に支障をきたした地域があった。
成果	大雪や除雪車の故障等で除雪が遅れた場合があったが、除雪ができずに通行ができなかった箇所はない。 住民要望によるザケ対応、拡幅作業、排雪作業も集中的に実施し、おおむね住民生活、経済活動は確保されたと判断するが、雪が降らなかった前年よりは苦情が多かった。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	
除雪路線の再編、業者委託の増加、地域住民組織による除雪体制の構築等を行う。	
成果の方向性	現状維持 (理由) 冬期間、除雪を実施することで、降雪時の交通障害を解消し、安全な交通を確保する。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	一般単独事業費（改良舗装等事業）				事業通番	4568		
					開始年度	--		
総合計画体系	政策	1	政策名	自然に配慮した環境づくり		終了年度	--	
	施策	1-3	施策名	交通体系の充実		担当課名	建設水道課	
予算科目	会計	一般会計		款	土木費		担当係名	建設係
	項	道路橋梁費		目	道路新設改良費		重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	道路法、会津美里町道路管理基準要綱						
事務事業の概要	町道等の道路改良舗装等（主に未舗装の町道の舗装）を行い、道路通行の安全を確保する。						
対象（誰、何を）	未舗装の町道						
意図 （対象がどのような状態になることを目指すか）	舗装整備される						
成果の考え方	未舗装の道路に新たな舗装を整備し、通行の安全を確保する。						
【成果指標】							単位
A	整備延長						m
B	-						-

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	7,113	5,485	30,264	21,446	29,936
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	7,113	5,485	30,264	21,446	29,936

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	200	200	200	300
	102	225	1,074	753	465
B	-	-	-	-	-
	-	-	-	-	-

(3) 活動実績及び成果

活動実績	各自治区長(区長会)からの要望箇所の町道及び生活関連道路の舗装整備を行うとともに水路整備を行った。
成果	道路通行上の安全が確保された

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	
各自治区からの要望は増加傾向にあるため、速やかな対応を図るためにも技術職員の拡充等の体制づくりも必要。	
成果の方向性	現状維持 (理由) 今後も、要望箇所危険度等の優先順位を付け、年次計画により整備を図る。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	建築基準法（2項道路）整備事業				事業通番	4570		
					開始年度	昭和64年度		
総合計画体系	政策	1	政策名	自然に配慮した環境づくり		終了年度	--	
	施策	1-3	施策名	交通体系の充実		担当課名	建設水道課	
予算科目	会計	一般会計		款	土木費		担当係名	管理係
	項	道路橋梁費		目	道路新設改良費		重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	建築基準法、会津美里町建築物等の建築に関する指導要綱						
事務事業の概要	都市計画区域内に建築物等を設置する際の接道が、建築基準法第42条第2項道路として指定された道路の場合、建築行為による接道が適法であるかを確認するための事前協議が必要になる。 2項道路は、道路中心線から両側2m以内の土地は道路敷とみなし、建築物等の設置ができないため、これらの土地（道路後退用地）を将来の道路拡幅用地として買収等により取得する。						
対象（誰、何を）	2項道路として指定された道路						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	安全に通行できる道路幅員を確保する。						
成果の考え方	事業の進捗度を見るには、当該年度に受付けた協議の数と、買収が済んだ土地の把握が必要なため成果指標を設定した。						
【成果指標】						単位	
A	2項道路適法確認件数						件
B	道路用地取得済件数						件

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	1,291	1,015	1,938	6,437	2,209
国庫支出金					
県支出金					
地方債					
その他					
一般財源	1,291	1,015	1,938	6,437	2,209

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	4	4	4	4
	6	4	4	10	5
B	-	2	2	8	8
	2	1	0	8	8

(3) 活動実績及び成果

活動実績	・ 2項道路の相談受付・事前協議・分筆買収。
成果	・ 昨年度に引き続き8件買収するに至った。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】		
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合		
【今後の改善方針】		
事前協議のデータベースの整理をさらに進める。		
成果の方向性	現状維持	(理由) 後退用地の協議を進め、狭隘道路の解消を図る。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	防雪柵整備事業				事業通番	14010		
					開始年度	平成30年度		
総合計画体系	政策	1	政策名	自然に配慮した環境づくり		終了年度	令和2年度	
	施策	1-3	施策名	交通体系の充実		担当課名	建設水道課	
予算科目	会計	一般会計		款	土木費		担当係名	建設係
	項	道路橋梁費		目	道路新設改良費		重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	道路法、会津美里町道路管理基準要綱						
事務事業の概要	冬期間の町道において、地吹雪による視界不良等により、安全な通行に支障をきたしている状況にあるため、防雪柵を整備し道路通行の安全を確保する。						
対象（誰、何を）	冬期間の町道						
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	交通事故の防止が図られる。						
成果の考え方	町道に防雪柵を整備することにより、地吹雪による視界不良を防止し、道路通行の安全を確保する。						
【成果指標】							単位
A	整備延長						m
B	事故発生件数						件

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)				30,605	60,968
国庫支出金					35,637
県支出金					
地方債					23,800
その他					
一般財源				30,605	1,531

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	-	-	200	200
	-	-	-	116	178
B	-	-	-	0	0
	-	-	-	0	0

(3) 活動実績及び成果

活動実績	・蕎麦の目地区、小沢地区の設置工事を実施した。
成果	・降雪期の地吹雪による視界不良を防止し、道路通行の安全確保が図られた。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】		
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合		
【今後の改善方針】		
有効な補助制度又は起債事業等を利用し、早期な事業完了を目指す。		
成果の方向性	現状維持	(理由) 早期整備し、冬期間の道路通行の安全確保を図る。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	橋梁長寿命化補修事業				事業通番	14580	
					開始年度	平成23年度	
総合計画体系	政策	1	政策名	自然に配慮した環境づくり	終了年度	--	
	施策	1-3	施策名	交通体系の充実	担当課名	建設水道課	
予算科目	会計	一般会計		款	土木費	担当係名	建設係
	項	道路橋梁費		目	道路維持費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	道路法・会津美里町道路管理基準要綱
事務事業の概要	本町が管理する道路橋は現在156橋あり、急速に老朽化が進行している状況にある。このような背景から、今後、増大が見込まれる橋梁の修繕及び架け替えに要する経費を、予防的な対応に転換し、コスト削減を図りながら橋梁の補修を行う。
対象（誰、何を）	町が管理する橋梁
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	橋梁の安全性が確保される
成果の考え方	老朽化が進行する橋梁を補修することで、橋梁の安全性が確保され、長寿命化が図れる。
【成果指標】	
A 定期点検を行った橋梁数	単位 橋
B 点検結果に基づき補修を行った橋梁数(補修設計含)	橋

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)	18,867	30,127	18,690	34,966	40,706
国庫支出金	12,088	18,480	10,841	21,347	19,589
県支出金					
地方債					12,500
その他					
一般財源	6,779	11,647	7,849	13,619	8,617

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	80	31	0	0
	0	89	31	0	0
B	-	-	0	1	1
	-	-	0	1	1

(3) 活動実績及び成果

活動実績	橋梁の長寿命化を図るため、令和元年度から新田橋の補修工事を行い、今年度をもって工事が完了した。
成果	橋梁の安全性が確保され、長寿命化が図れた。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	
今後、増大が見込まれる橋梁の修繕に要する経費を、予防的な対応に転換し、コスト削減を図りながら橋梁の補修を行う。	
成果の方向性	現状維持 (理由) 予防保全に努めることにより、効果的な維持管理を図る。



事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	道路新設改良等事業				事業通番	15072	
					開始年度	--	
総合計画体系	政策	1	政策名	自然に配慮した環境づくり	終了年度	--	
	施策	1-3	施策名	交通体系の充実	担当課名	建設水道課	
予算科目	会計	一般会計		款	土木費	担当係名	建設係
	項	道路橋梁費		目	道路新設改良費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	道路法・会津美里町町道管理基準要綱					
事務事業の概要	狭隘な町道の改良や歩道の設置、未改良区間の改良等を行い、良好な道路交通環境を確保し町民の利便性・安全性を図る。					
対象（誰、何を）	町道の狭隘区間					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	安全な道路の通行が確保される					
成果の考え方	町民の利便性。安全性を図る					
【成果指標】						単位
A	-					-
B	改良延長					m

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)					101,820
国庫支出金					29,649
県支出金					
地方債					71,000
その他					
一般財源					1,171

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	-	-	-	-
B	-	-	-	-	680
	-	-	-	-	858

(3) 活動実績及び成果

活動実績	・町道12009号線布才地工区外、狭隘な町道の改良や歩道の設置をおこなった。
成果	・良好な道路交通環境の確保が図られた。

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	
<input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	
狭隘な区間の町道の改良や、歩道設置及び未改良区間を解消する。	
成果の方向性	現状維持 (理由) 良好な道路交通環境を確保し利便性・安全性を図る。

事務事業 事後評価シート（令和2年度実施事業）

事務事業名	地域公共交通活性化再生事業				事業通番	15571	
					開始年度	平成31年度	
総合計画体系	政策	1	政策名	自然に配慮した環境づくり	終了年度	--	
	施策	1-3	施策名	交通体系の充実	担当課名	政策財政課	
予算科目	会計	一般会計		款	総務費	担当係名	政策企画係
	項	総務管理費		目	企画費	重点プロジェクト	

1. 事業の概要

法令根拠、条例等	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律、道路運送法、会津美里町地域公共交通会議設置要綱					
事務事業の概要	会津美里町地域公共交通網形成計画に基づき、町民が利用しやすく便利で快適な地域公共交通の再生を目指し、利用者ニーズに合わせた路線バス、美里あいあいタクシーの維持・充実に図り、将来にわたり持続可能な地域公共交通網を形成する。					
対象（誰、何を）	町民					
意図 (対象がどのような状態になることを目指すか)	公共交通を利用する。					
成果の考え方	町民の日常生活に必要な移動手段が維持・確保され、通院や買い物、趣味活動等において外出利用が増えているかを評価とするため、以下の指標を設定する。 A：美里あいあいタクシー利用者 B：路線バス利用者 平成31年度より3事業を、「地域公共交通活性化再生事業」に統合。それに合わせ、B指標も見直し。 【B指標】は路線バス年間利用者として輸送人員実績を設定していたが、実人数ではなく数式で算出される安定的でない指標であるため、地域公共交通網形成計画の成果指標に合わせ、1日あたりの利用者数（実人数）を用いる。					
【成果指標】						単位
A 美里あいあいタクシー利用者						人
B 路線バス利用者						人

2. 事業の実績

(1) 事業費等の推移

区分	28年度(決算)	29年度(決算)	30年度(決算)	31年度(決算)	2年度(決算)
事業費(千円)				51,080	44,496
国庫支出金				643	
県支出金				9,623	6,131
地方債					
その他					
一般財源				40,814	38,365

(2) 指標の推移

上段：目標値 下段：実績値

成果指標	28年度	29年度	30年度	31年度	2年度
A	-	-	-	27,350	27,450
	-	-	-	29,188	23,133
B	-	-	-	844	844
	-	-	-	698	601

(3) 活動実績及び成果

活動実績	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会津圏域地域公共交通網形成計画に基づく具体的な路線バス再編事業の協議を行った。</li> <li>・路線バスの利用促進として、未就学児（年長児）を対象としたギャラリーバスを実施し、26名の未就学児が乗車した。</li> <li>・ギャラリーバスの実施にあわせて、未就学児（年長児）を対象とした路線バス試乗会を町内の4つのこども園すべてで実施した。</li> </ul>
成果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・会津圏域公共交通活性化協議会において路線バス再編についての協議を行い、会津圏域地域公共交通再編実施計画を策定した。</li> <li>・会津圏域地域公共交通再編実施計画をもとに路線バスの再編を行い、経路・運賃の変更、地域拠点への乗り入れを実施した。</li> </ul>

3. 最終評価

【事業実施の方向性】	
<input type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善して継続 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合等を検討 <input type="checkbox"/> 廃止・休止又は統合	
【今後の改善方針】	
鉄道、路線バス及びデマンド交通等を一体的に捉え、町民が利用しやすく、将来にわたり持続可能な公共交通体系を維持する。また、必要なシステムの導入等についての検討を進める。	
成果の方向性	拡充 (理由) デジタル化の加速も踏まえ、町民が利用しやすく持続可能な公共交通体系の維持に必要なシステム等の導入を図る。